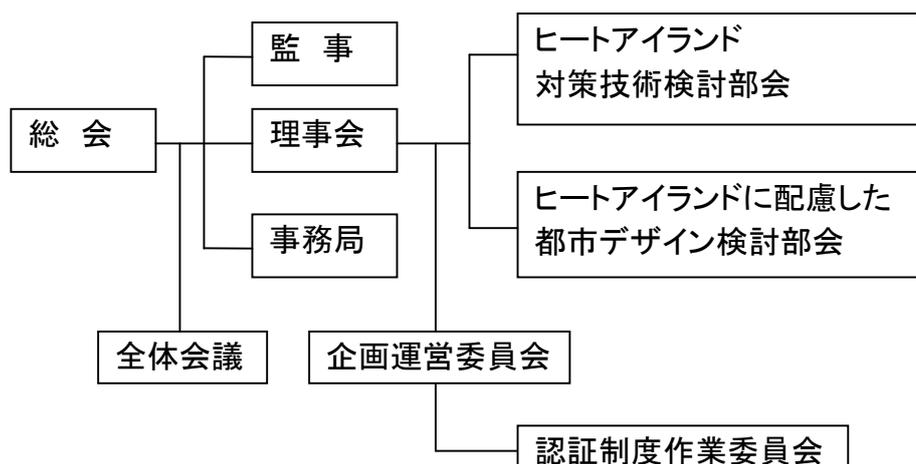


平成21年度事業報告について

1. 組織



2. 役員構成(平成22年4月1日時点)

理事長 水野 稔(大阪大学名誉教授)
副理事長 野邑 奉弘(大阪市立大学名誉教授)
理事 森山 正和(摂南大学教授)
池上 俊郎(NPO 法人エコデザインネットワーク理事長、
京都市立芸術大学教授)
松本 清一(前大阪ガス株式会社環境部長)
泉 正博(関西電力株式会社環境室長)
監事 田川 静一(大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室長)
松本 高秋(大阪市環境局環境施策部長)

3. 活動実績

(1) 総会・理事会等の開催

企画運営委員会(平成21年5月15日)、理事会(同6月5日)、総会(同6月5日)を開催し、理事会及び総会では、平成20年度事業報告、同収支決算、平成21年度事業計画・予算計画、理事の選任及び理事の再任について議論し、承認を得た。

また、企画運営委員会(平成22年1月14日)を開催し、検討部会の進捗状況及び認証制度委員会の検討状況などについて議論した。

(2) 啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナーを開催した。

○会員向けセミナー(平成21年6月5日)

<内容>

①テーマ:『認証制度検討委員会の経過報告について』

講師:野邑奉弘(大阪市立大学名誉教授)

<大阪HITEC副理事長>

②テーマ:『ヒートアイランドの現状、評価、素材から見た対策技術』

講師:吉田篤正(大阪府立大学教授)

<素材関連WG主査>

<参加者>

100名

○公開セミナー(平成21年10月30日)

～『ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ』公開シンポジウムより～

<内容>

①テーマ:『環境省によるヒートアイランド対策の取組みについて』

講師:鈴木 克彦(環境省 水・大気環境局 大気生活環境室室長補佐)

<参加者>

132名

(3) 検討部会(ワーキンググループ)の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

【素材関連WG】

高反射率塗装、高反射率防水シート、保水性舗装、外断熱及び住宅屋根材の評価シートをWG及び三つのサブWG(保水性舗装、外断熱、住宅屋根材)において検討し、その素案について意見交換を行った。

○第14回会合:平成21年6月11日

<内容>

①情報提供

②保水性舗装サブWGの進捗状況について

③断熱によるヒートアイランド対策について

○第 15 回会合:平成 21 年 8 月 5 日

<内容>

- ①外断熱サブWGの設置と活動内容について
- ②住宅屋根のヒートアイランド対策効果に関する検討サブWGの設置について
- ③保水性サブWGの進捗状況について

○第 16 回会合:平成 21 年 10 月 26 日

<内容>

- ①保水性舗装サブWGの活動報告について
- ②外断熱サブWGの活動報告について
- ③住宅屋根材サブWGの活動報告について
- ④情報提供

○第 17 回会合:平成 21 年 12 月 11 日(熱有効活用・人工排熱低減WGと合同開催)

<内容>

- ①「第2回都市ヒートアイランド対策国際会議」報告会

○第 18 回会合:平成 22 年 3 月 1 日

<内容>

- ①保水性舗装サブWGの次年度計画について
- ②住宅屋根材サブWGの活動報告について
- ③認証制度委員会の進捗状況について

【熱有効活用・人工排熱低減WG】

都市内の人工排熱処理とその利活用、設備的対策技術情報に係るデータベースを検討し、講演会の開催や意見交換を行った。

他に、海水への人工排熱処理サブWGを開催し、大阪港の生態系や海水温、また都市気候等への人工排熱処理の影響について検討を行った。

○第 17 回会合:平成 21 年 5 月 13 日

<内容>

- ①20 年度事業報告
- ②21 年度にWGで取組むテーマについて
- ③設備的対策技術情報データベースについて
- ④海水への人工排熱処理サブWGの検討状況報告

○第 1 回講演会:平成21 年 11 月 20 日

<内容>

①講演

「都市における未利用エネルギー活用地域冷暖房ネットワーク事業
ーパリ市等欧米における地域冷暖房ネットワーク事例紹介ー」

早稲田大学理工学術院理工学研究所 中嶋浩三

②報告

「既往の調査研究から見た大阪の人工排熱実態と排熱利用上の課題」
大阪市立大学大学院工学研究科 中尾正喜

○第 18 回会合：平成 21 年 12 月 11 日（素材関連WGと合同開催）

<内容>

①「第2回都市ヒートアイランド対策国際会議」報告会

【クールスポット創造技術手法WG】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化技術に関する評価項目等の検討、また、水を活用した技術を検討した。

特に本年度は、水を活用した道路を冷ます技術について、クールロードサブWGを設置し、公募により採用した 2 社の技術について 8 月中旬から 10 月上旬にかけて技術の効果検証などを実施した。

また、緑化による温度低減効果を把握するための簡易蒸発散評価装置の開発にも取り組んだ。

屋上緑化で想定される低層の草木類植被を対象とした評価項目、および植被の蒸発散速度を簡易に測定する装置の開発を検討し、測定装置を試作した。

○第 12 回会合：平成 22 年 1 月 7 日

<内容>

①クールロードサブWGの水を活用し道路を冷ます技術についての検討、効果検証の状況について

②簡易蒸発散評価装置の開発状況について

③情報提供

【熱負荷評価手法WG】

昨年度に開発した大気熱負荷簡易評価モデル報告会を開催し、モデルの紹介を行うとともに、熱負荷評価手法に係る課題について検討した。

○第 5 回会合：平成 21 年 10 月 16 日（大気熱負荷簡易評価モデル報告会）

<内容>

①大気熱負荷簡易評価モデルの解説、デモ

【都市デザインWG】

ヒートアイランド現象を緩和し魅力ある都市空間を創出する空間デザインと、大阪の夏を涼しく過ごす夢あふれるユニークなアイデアを募集する「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」を実施し、応募作品（都市デザイン部門 17 作品、技術アイデア部門 14 作品）の審査の結果、最優秀作品賞 1 作品、特別賞 7 作品を決定した。

さらに、コンペに応募いただいた全作品を展示する作品展と、コンペ協賛法人のうち 20 法人による屋上の高反射率化、緑化、人工排熱低減など様々なヒートアイランド対策技術を紹介する協賛法人シーズ紹介展（平成 21 年 10 月 29 日、30 日開催、来場者数：189 名）、及び表彰式と記念の公開シンポジウム（セミナー及びパネルディスカッション、平成 21 年 10 月 30 日開催、来場者数：132 名）を開催した。

また、ヒートアイランドに配慮した都市デザインを検討するため、情報交換を行った。

「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」検討委員会の開催

○第4回コンペ検討委員会：平成21年9月3日

<内容>

- ①審査委員会の進め方について
- ②表彰式・公開シンポジウムの進め方について

○第5回コンペ検討委員会：平成21年12月10日

<内容>

- ①コンペの結果についての報告
- ②今後のコンペに関する活動についての方針

「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」審査委員会の開催

○コンペ審査委員会：平成21年9月10日

<内容>

- ①応募作品31作品を地域特性の考慮、対策技術の総合性、デザイン性、波及効果等の観点から総合的に審査し、受賞作品を選考。

○第9回会合：平成22年3月16日

<内容>

- ①21年度の活動内容についての報告
- ②22年度の活動内容についての方針

(4) 認証制度作業委員会による認証制度実施要綱(案)の作成

企画運営委員会の下に認証制度作業委員会を設置して「認証制度実施要綱(案)」の作成作業を行い、理事、企画運営委員会委員、関係者等の意見を聴取した。

○第1回作業委員会：平成21年12月1日

<内容>

- ①認証制度実施要綱(案)の作成について

○第2回作業委員会：平成22年1月6日

<内容>

- ①認証制度実施要綱(案)について

○意見聴取：平成22年3月22日から

「認証制度実施要綱(案)」について、理事、企画運営委員会委員、関係者等の意見を聴取した。

(5) 部会活動等の周知

循環型社会づくりをめざす最新の環境ビジネスを広く紹介する「おおさかATCグリーンエコプラザ」に出展し、PRパネルの展示とパンフレットの配布を行った。

▽期間:2009年10月1日～28日

▽会場:おおさかATCグリーンエコプラザ

▽10月の入場者数:11,754人、団体見学数:63団体

都市デザインWGが実施した「ヒートアイランドに配慮したまちづくり・アイデアコンペ」の表彰式にあわせて、コンペに応募いただいた全作品を展示する作品展と、コンペ協賛法人のうち20法人による屋上の高反射率化、緑化、人工排熱低減など様々なヒートアイランド対策技術を紹介する協賛法人シーズ紹介展(平成21年10月29日、30日開催、来場者数:189人)、及び記念の公開シンポジウム(セミナー及びパネルディスカッション、平成21年10月30日開催、来場者数:132人)を開催した。(再掲)

検討部会で検討された内容等について周知するため、ニュースレター『大阪HITEC NEWS Vol. 5』を平成21年12月8日に発行した。

(6) ホームページの拡充

本コンソーシアムの活動成果等について、ホームページを拡充・更新した。

(7) 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムPR用リーフレットの配布

普及啓発及び検討部会への参画を促すため、随時リーフレットを配布し、PRを実施した。

(8) 国際会議の後援

技術(工学)と政策の両面から都市ヒートアイランドの緩和を検討する『第2回都市ヒートアイランド対策国際会議』(アメリカ合衆国カリフォルニア州バークレー市において、平成21年9月21日～23日に開催)を後援し、大阪におけるヒートアイランド対策の取組みを紹介した。

また、希望のあった法人会員(5社)の技術シーズのPR(パンフレット配布)を実施した。